

会議結果報告書

1	会議名等	令和6年度第2回茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議
2	日 時	令和6年9月26日(木) 14時00分～16時15分まで
3	場 所	茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室4・5
4	出席者	<p>(委員)</p> <p>■鈴木 大雅 委員(当事者) ※当事者委員は当事者部会カラフルより輪番制</p> <p>■牧野 浩子 委員(茅ヶ崎市障害者団体連絡会)</p> <p>■上杉 桂子 委員(茅ヶ崎市障害者団体連絡会)</p> <p>■瀧井 正子 委員(茅ヶ崎市障害者団体連絡会)</p> <p>■柴田 勝一 委員(特定非営利活動法人茅ヶ崎市障害者施設連絡会)</p> <p>■田島 淳一郎 委員(茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会)</p> <p>■戸祭 高志 委員(茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会)</p> <p>■柏木 雅彦 委員(神奈川県立茅ヶ崎支援学校)</p> <p>□濱田 盛厚 委員(茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会)</p> <p>■臼井 幹夫 委員(当事者部会(カラフル)長)</p> <p>■栢沼 玲也 委員(相談支援部会長)</p> <p>■譲原 充司 委員(就学後の相談のしくみ部会長)</p> <p>■高野 宏章 委員(就労・生活支援部会長)</p> <p>■岸 丈志 委員(事業所間交流・情報発信部会長)</p> <p>■太田 英次郎 委員(くらしの基盤強化部会長)</p> <p>■佐藤 右輔 委員(社会福祉法人碧 地域生活支援センター元町の家)</p> <p>■棚橋 利恵 委員(茅ヶ崎市社会福祉事業団 相談支援センターつみき)</p> <p>■田中 有希子 委員(茅ヶ崎市社会福祉協議会 障害者生活支援センター)</p> <p>■安田 のり子 委員(社会福祉法人翔の会 生活相談室とれいん)</p> <p>□守村 妙子 委員(茅ヶ崎市保健予防課)</p> <p>(オブザーバー)</p> <p>■高丸 やい子 氏(特定非営利活動法人茅ヶ崎市身体障害者福祉協会)</p> <p>□田中 秀巳 氏(湘南東部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター)</p> <p>■佐藤 敏彦 氏(湘南東部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター)</p> <p>□大木 教久 氏(一般社団法人茅ヶ崎医師会)</p> <p>(事務局・事業所)</p> <p>■瀬川 直人 氏(社会福祉法人碧 ちがさき基幹相談支援センター Nalu)</p> <p>■鐘ヶ江 麻里子 氏(社会福祉法人碧 ちがさき基幹相談支援センター Nalu)</p> <p>(事務局・障がい福祉課)</p> <p>■鈴木障がい福祉課長 ■大八木課長補佐 ■荒井課長補佐 ■前田課長補佐 ■大畑副主幹</p> <p>■渡邊主査 ■池元主査 ■鈴木(敦)主査</p> <p style="text-align: right;">(■ : 出席、□ : 欠席)</p>

5 会議資料	<p>次第</p> <p>【資料1-1】AMANEKU茅ヶ崎萩園 日中サービス支援型共同生活援助 事業計画書  【当日資料1-1】AMANEKU茅ヶ崎萩園 事業説明資料  【当日資料1-2-1】ミナノワ株式会社 日中サービス支援型共同生活援助 事業計画書  【当日資料1-2-2】ミナノワ株式会社 障がい者グループホーム 事業計画書  【当日資料1-2-3】案内図  【当日資料1-2-4】平面図  【当日資料1-2-5】立面図  【資料2-1】就労・生活支援部会報告書（令和6年度第1回）  【当日資料2-1-1】就労・生活支援部会報告書（令和6年度第2回）  【当日資料2-1-2】就労・生活支援部会「障がい者就労体験実習に関するアンケート」  【資料2-2】くらしの基盤強化部会報告書（令和6年度第1回）  【資料2-3】当事者部会報告書（令和6年度第1回）  【当日資料2-2】当事者部会報告書（令和6年度第2回）  【資料2-4】相談支援部会（令和6年度第1回）  【当日資料2-3】相談支援部会（令和6年度第2回）  【資料2-5-1】事業所間交流・情報発信部会報告書（令和6年度第1回）  【資料2-5-2】事業所間交流・情報発信部会報告書（令和6年度第2回）  【資料2-6】医療的ケア児等への支援検討プロジェクト会議報告書（令和6年度第2回）  【資料2-7-1】地域生活支援拠点等整備進化プロジェクト会議報告書（令和6年度第1回）  【資料2-7-2】地域生活支援拠点等整備進化プロジェクト会議報告書（令和6年度第2回）  【資料3-1】基幹相談支援センター実績報告/検証・検討シート（令和5年度）  【資料3-2】基幹相談支援センター実績報告/検証・検討シート（令和5年度）委員意見  【資料4-1】地域生活支援拠点等の機能・取組状況の検証・検討シート（令和5年度）  【資料4-2】地域生活支援拠点等の機能・取組状況の検証・検討シート（令和5年度）委員意見  【追加資料】茅ヶ崎市医療的ケア児在宅レスパイト事業のご案内（利用者向け）</p>
6 議題	<p>1 開会  2 議題</p> <p>(1) 日中支援型グループホームの新設について【資料1-1】、【当日資料1-1】  【当日資料1-2-1】、【当日資料1-2-2】、【当日資料1-2-3】  【当日資料1-2-4】、【当日資料1-2-5】</p> <p>(2) 部会結果報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学後の相談のしくみ部会</li> <li>・就労・生活支援部会【資料2-1】、【当日資料2-1-1】【当日資料2-1-2】</li> <li>・くらしの基盤強化部会【資料2-2】</li> <li>・当事者部会（カラフル）【資料2-3】、【当日資料2-2】</li> <li>・相談支援部会【資料2-4】、【当日資料2-3】</li> <li>・事業所間交流・情報発信部会【資料2-5-1】、【資料2-5-2】</li> <li>・医療的ケア児等への支援検討プロジェクト【資料2-6】</li> <li>・地域生活支援拠点等整備進化プロジェクト（えぼプロ）【資料2-7-1】、【資料2-7-2】</li> </ul> <p>(3) 令和5年度 基幹相談支援センターの検証・検討について【資料3-1】、【資料3-2】  (4) 令和5年度 地域生活支援拠点等の検証・検討について【資料4-1】、【資料4-2】  (5) その他</p>
7 概要及び主な意見	<p>1 開会</p> <p>事務局の鈴木障がい福祉課長より以下説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員紹介、欠席連絡、オブザーバーの紹介。傍聴者1名あり。</li> <li>・障がいのある当事者の委員について、第1回代表者会議では調整中であったが、当事者部会の委員より、輪番で出席との回答があり、今回は鈴木大雅委員が出席している。</li> </ul>

## 2 議題

### (1) 日中支援型グループホームの新設について

資料に基づき、株式会社AMAT UHI 及びミナノワ株式会社より報告。

#### (質疑応答)

●上杉委員	防音への対処があればお聞きしたい。 また、ショートステイ利用の方の出入りが隣室で頻繁にあると、居住者が落ち着かないことがある。居室を隣同士にせず、緩和措置を取ることは可能か。
○株式会社 AMAT UHI	防音については、設計の段階であれば対処可能だが、今回は対処が間に合わない。 ショートステイの部屋の交換は可能。ご入居いただく方によっては部屋の変更は検討できる。
○ミナノワ 株式会社	現状の建物に関しては、工事が始まっているため改善が難しい。今後建築する物件の参考にさせていただきたい。
●上杉委員	グループホーム学会という団体があり、多くの方が参加している。グループホームの情報が飛び交っており、後から取りつけ可能な防壁も販売されてるといった話も出ていた。そういった情報も取り入れてほしい。
●牧野委員	どちらも20床ということだが、男女の差や障がい種別、または医療的ケアが必要な人の人数によって、階を分ける予定はあるか。
○株式会社 AMAT UHI	障がいに加えて難病の方など、すべてのグループホームにいらっしゃるが、簡易的な車椅子用のお風呂があるので、身体障がいの方の入居が多いイメージがある。 1階が男性10名、2階が女性10名という想定だが、割合は実情に合わせてその都度対応する。
●牧野委員	障がいでは分けないということは、1階も2階も、車椅子や重度の寝たきりの人が入れるお風呂やトイレが完備されているということか。 上杉委員の意見のとおり、独立して、少し離れたところにある部屋はいい。部屋の配置にも配慮していただけるとありがたい。
○ミナノワ 株式会社	男女の対象は現状決定していないが、既存ホームでは、男女を1階と2階で分ける、もしくは男性のみの入居である。全障がい、入居対象である。
●牧野委員	女性のみという可能性はないのか。
○ミナノワ 株式会社	女性の問い合わせの数が、男性に比べると非常に少なく、今までは男性のみ、もしくは男女で1階2階に居室を分ける形をとっている。

### (2) 部会の結果報告について

各部会部会長または部会事務局より報告。

#### (質疑応答)

●上杉委員	事業所間交流・情報発信部会で、当事者の方々の情報交換活動が入っているが、当事者部会(カラフル)の活動との差は何か。
○生活相談 室とれい ん 安田 委員	情報発信部会では、当事者間の交流が目的というよりは、情報の伝達方法や、どういった情報がどう伝わっていったら良いかという話し合いをしている。今回の研修は、差別解消や障がい者支援を考えてもらうきっかけとして、当事者目線の障害福祉推進条例を支援者に理解して欲しいとの発案が部会員である当事者からあったことにより開催した。
●上杉委員	就労・生活支援部会で、今後説明会を行うという話があった。 現在は、支援学校の保護者や卒業生向けに、土日に支援学校の中庭で説明会が行われているが、子供を連れて行くことができないとのこと。例えばコミュニティホールを使用して開催できないか、障がい福祉課に相談した保護者から、自立支援協議会で検討するとの回答だったと聞いた。この場で回答可能か。
○高野委員	対象は高校生以上、支援学校の卒業生、精神障がいの方や発達障がいの方達で考えている。支援学校の説明会は夏休みに開催しており、土日ではない。部会員である支援学校の先生から、夏休み中の開催だと参加が難しい家庭があるとの意見を受け、土日開催を想定していたが、平日開催などの再検討が必要か。
●上杉委員	土日ではなく、長期休暇だったかもしれない。

	軽度の知的障がいの高校生だと、自身の認識と能力とに差がある場合もあり、本人のみでの参加は心配だとの保護者の話を聞く。一方で、保護者と本人と一緒に参加するのが最適かは分からない。各種検討してから開催してほしい。
○事務局 (市)	当日資料2-1-1の3ページ目にも記載があるが、コミュニティホールは非営利目的であれば活用ができる。契約行為は不可であるが、事業所の紹介、見学のための連絡先の交換までであれば使用可能の旨を伝えている。自立支援協議会なので、市の共催という形を取れる。

(3) 基幹相談支援センターの検証・検討について

資料に基づき、事務局(市)とちがさき基幹相談支援センター Nalu より説明・報告。質疑なし。

(4) 地域生活支援拠点等の機能・取組状況の検証・検討について

資料に基づき、事務局(市)より説明。質疑なし。

(5) その他

(質疑応答)

●田島委員	私は居宅介護事業所連絡会から委員として参加しているが、地域生活を行っていくための人材確保は、崩壊に近いという程に厳しい状況。現状でも十分な需要と供給のバランスが取れていない。 高齢者施設の場合は、ヘルパー事業所と訪問看護が併設されたサービス付き住宅などを大手企業が運営し、広く人材採用・確保を行っている。一方で障がい者施設は、利益率の問題のほか、障がい者への支援を行うヘルパーが非常に少ない。 過去にもヘルパー資格取得のための助成が社会福祉協議会で行われてきたが、約500人の受講に対し、実働に就労に繋がった方は5,6名であった。事業所紹介イベントもいくつか開催したが、ここでも採用まではうまくいかなかった。 こういった状況を協議会で発信し、当事者に実情を伝えていくべきだと思う。
●上杉委員	田島委員の意見については、利用者としても実感がある。事業者と利用計画を立てるとき、利用が少ない方が喜ばれることがあり、それ程逼迫しているのだなと感じる。利用者にとっては少し辛さもある。 日中サービス支援型のグループホームへの質問に戻ってしまうが、株式会社AMATUHIはほとんど満床だと聞いた。相談支援事業所には、グループホームの新設情報や、或いは相談支援事業所から新設のグループホームに繋ぐというケースがあるのか。我々の会に情報が入ったのは最近だったが、その時点で満床だった。
○事務局 (市)	事業所の開設前に、障がい福祉課で面談を行う中で、相談支援事業所連絡会にて事業所の開設について紹介するよう案内している。相談支援事業所はこれにより開設を把握することとなる。
●上杉委員	利用者は開設情報を早く知りたいという気持ちがある。そういう道筋ができると良い。 もう1つ、音の問題について以前確認した際、市に開設の相談が入る段階では建築が始まっていないため、壁の厚さの要望を出せるのではという話ではなかったか。
○事務局 (市)	株式会社AMATUHIについては、障害者団体連絡会からの要望について、設計に間に合えば考慮するよう伝えた。 ミナノワ株式会社については、面談が先週で、設計が最終段階であったため、抜本的な構造変更が難しいとのことであった。後付けの防壁設置も可能であるため、検討するよう伝えている。
●柴田会長	新規参入するグループホームの空き状況等を事前を知る術について、ちがさき障がい者支援アプリには現在掲載されているのか
●牧野委員	認可を受けた後、或いは建設後など、掲載への基準があるのか。
○事務局 (市)	明確な基準はないが、開設が分かった時点で情報やパスワードを事業所に付与する。あとは事業者がどのタイミングで情報を載せるか、開設前に載せられるのかによる。

・上杉委員より、12月6日(金)18時半から茅ヶ崎市民文化会館で、翌日7日(土)10時半からと13時半から寒川町の健康管理センターで上映する、映画「梅切らぬバカ」の紹介。

- ・事務局（市）より、医療的ケア児等への支援検討プロジェクトにて説明した「茅ヶ崎市医療的ケア児在宅レスパイト事業」の利用案内チラシの紹介。ホームページとアプリにも掲載している。

●生活相談室とれいん 安田委員	今後本事業が18歳以上に拡大していく可能性はあるか。市内では、医療的ケア児の放課後等デイサービス事業所が3、4ヶ所と訪問看護事業所があり、18歳未満への支援が厚い一方で、18歳以上は放課後等デイサービスの利用ができず、またショートステイの選択肢も厳しい状況がある。御家族から、レスパイトやショートステイ希望が多くなっているため、18歳以上の拡大も今後検討してほしい。
○事務局（市）	本件は県の補助事業のため、県の事業スキームに則り実施している。18歳以上の事業を市単独ですぐに実施していくのは難しいが、18歳以上の方のレスパイト需要も検討し、神奈川県に拡大の要望を行っていく。

- ・高野委員より、10月15日（火）14時から16時半にハローワーク藤沢の4階で開催する「働く連携セミナー」の紹介。
- ・生活相談室とれいん 安田委員より、10月20日（日）に社会福祉法人翔の会で開催する「フィエスタ翔」の紹介。

以上

令和6年10月17日作成